

---

# 海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の 検証について

---

平成29年12月21日

海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

# 《目次》

	項 目	ページ
1	今年度の総合戦略の主な意見交換項目	2
2	海田町の人口の現状	3
3	P D C Aサイクルのイメージとスケジュール	6
4-1	達成に向けた状況	7
4-2	K P Iの見直し	26
4-3	地方創生加速化交付金を活用した取組	27
資料編	総合戦略の概要	32

# 1 今年度の総合戦略の主な意見交換項目

## 【趣旨】

平成27年9月に海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という)を策定して、今年度で計画期間の中間点となることから、総合戦略のKPI値の検証および施策の進め方について、委員の意見をいただく。

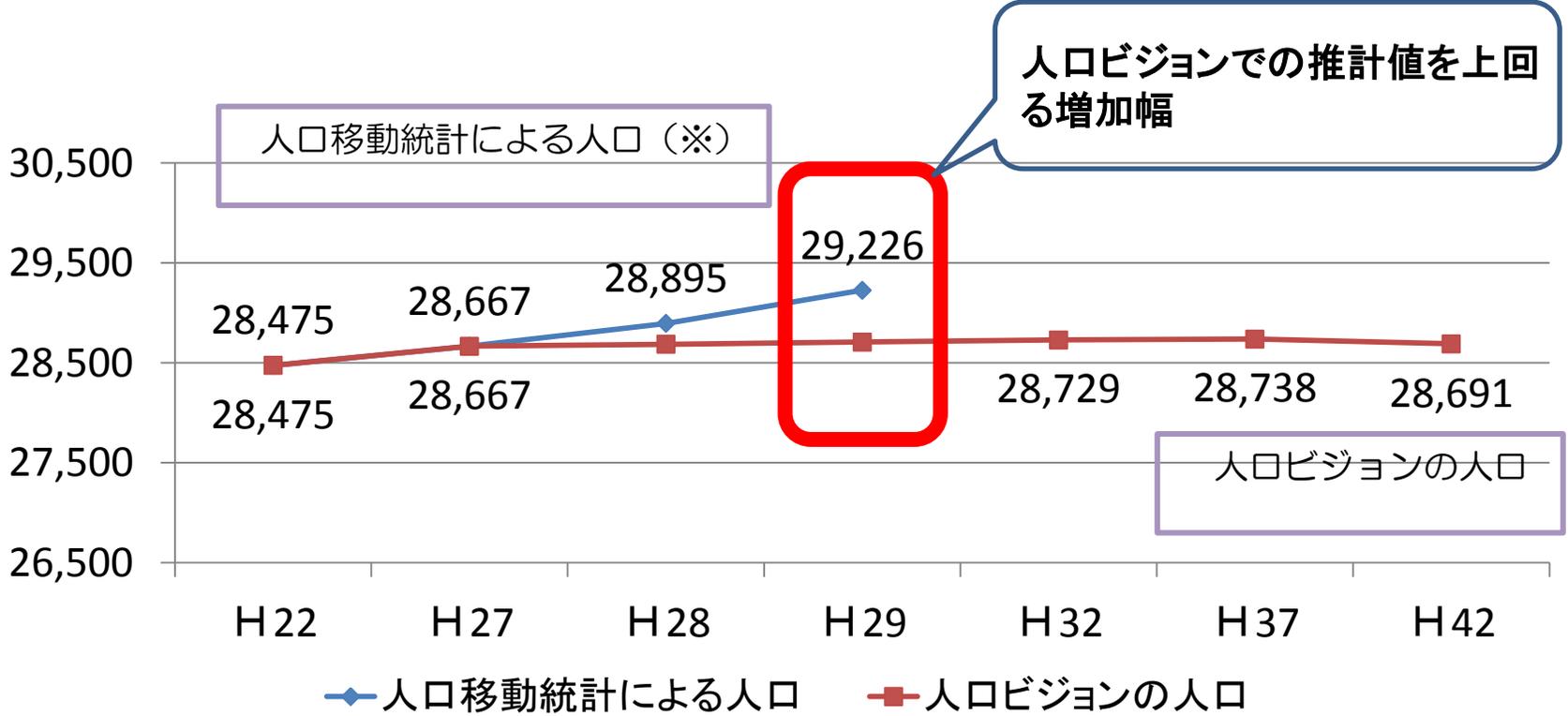
## 平成29年度

### 主な意見交換項目

- 総合戦略の達成に向けた状況について(4-1)
  - ・子育て支援について
  - ・町の魅力発信について
  - ・仕事の創出について
- 総合戦略のKPI値の検証を踏まえ、KPIの見直し(4-2)
- 地方創生加速化交付金を活用した取組の評価(4-3)

## 2 海田町の人口の現状

総合戦略における人口ビジョン(H27. 9月策定)においては、平成37年から人口が減少に転ずるものとして推計しているが、現状において、実際の人口は推計値の増加幅を上回る増加で推移している。

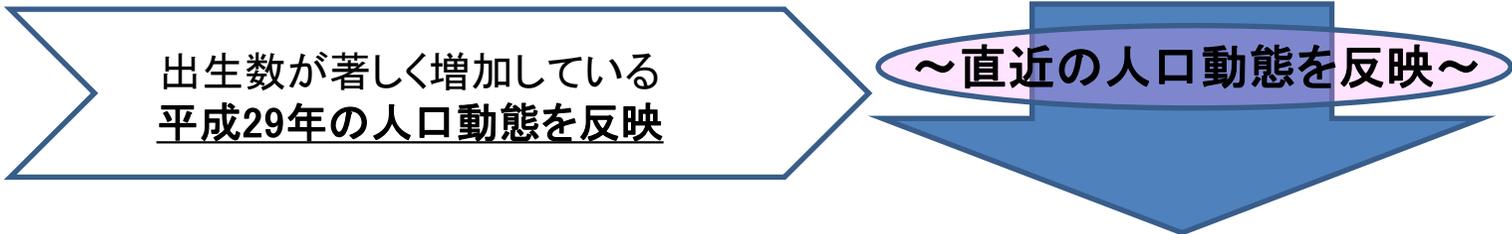


※人口移動統計：広島県が実施している統計調査で、直近(H27)の国勢調査による人口を起点とし、推計値を算出

## 2 海田町の人口の現状

《参考(直近の人口動態を加味した推計)》  
 【人口ビジョンにおける推計の前提条件】

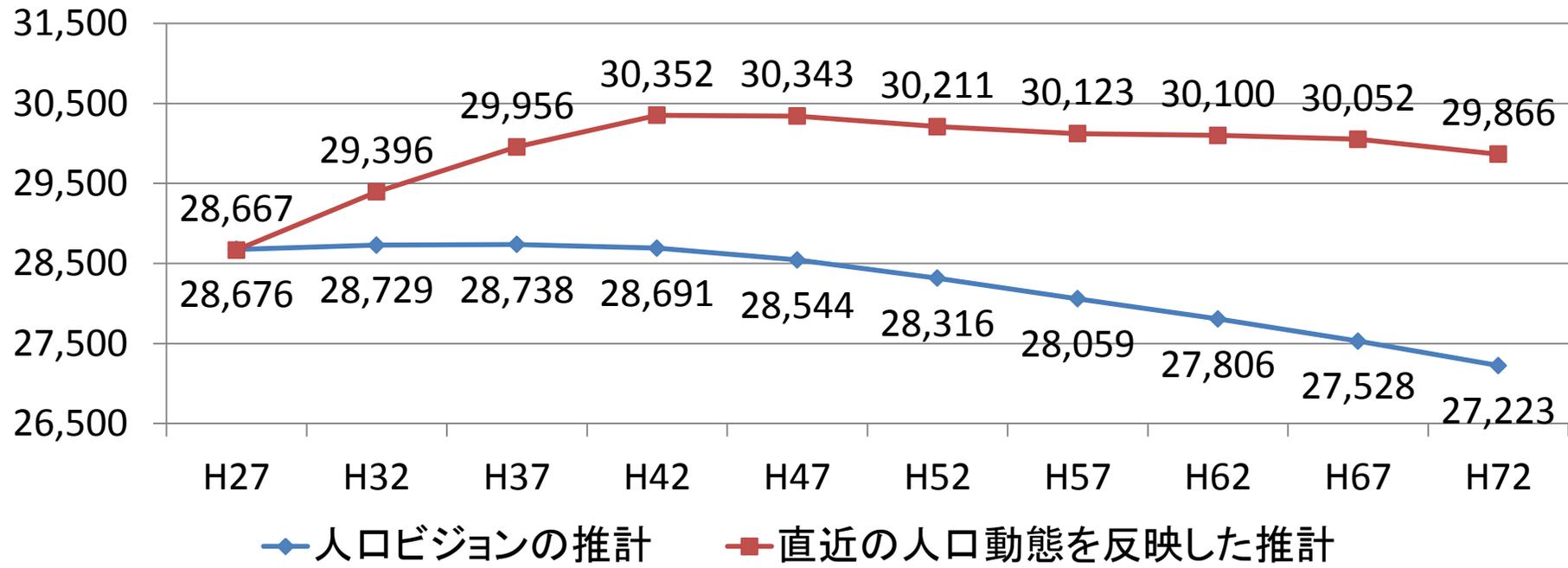
出生率	死亡	移動	特徴
直近の「人口動態調査保健所・市区町村別統計」による1.65を基準に0.11ずつ上昇し、人口ビジョン策定時に行った町民アンケート調査による「予定出生数平均値」の1.98を上限に推移	全国及び都道府県の平成17年→22年の生存率の比から算出される生存率を適用	国立社会保障・人口問題研究所が平成25年10月に行った人口推計方法に基づき、 <b>平成22年国勢調査と平成27年推定人口から算出</b> された純移動率が一定で推移すると仮定	平成22～27年の人口増減トレンドを反映している。



《純移動率を「平成22年国勢調査と**平成29年推定人口(※)**から算出」された数値に変更》  
 ※平成29年推定人口: 広島県人口移動統計調査のH29.10.1現在人口を海田町のH29.10.1現在の住民基本台帳人口の各年齢構成比で按分

## 2 海田町の人口の現状

### 《推計結果》

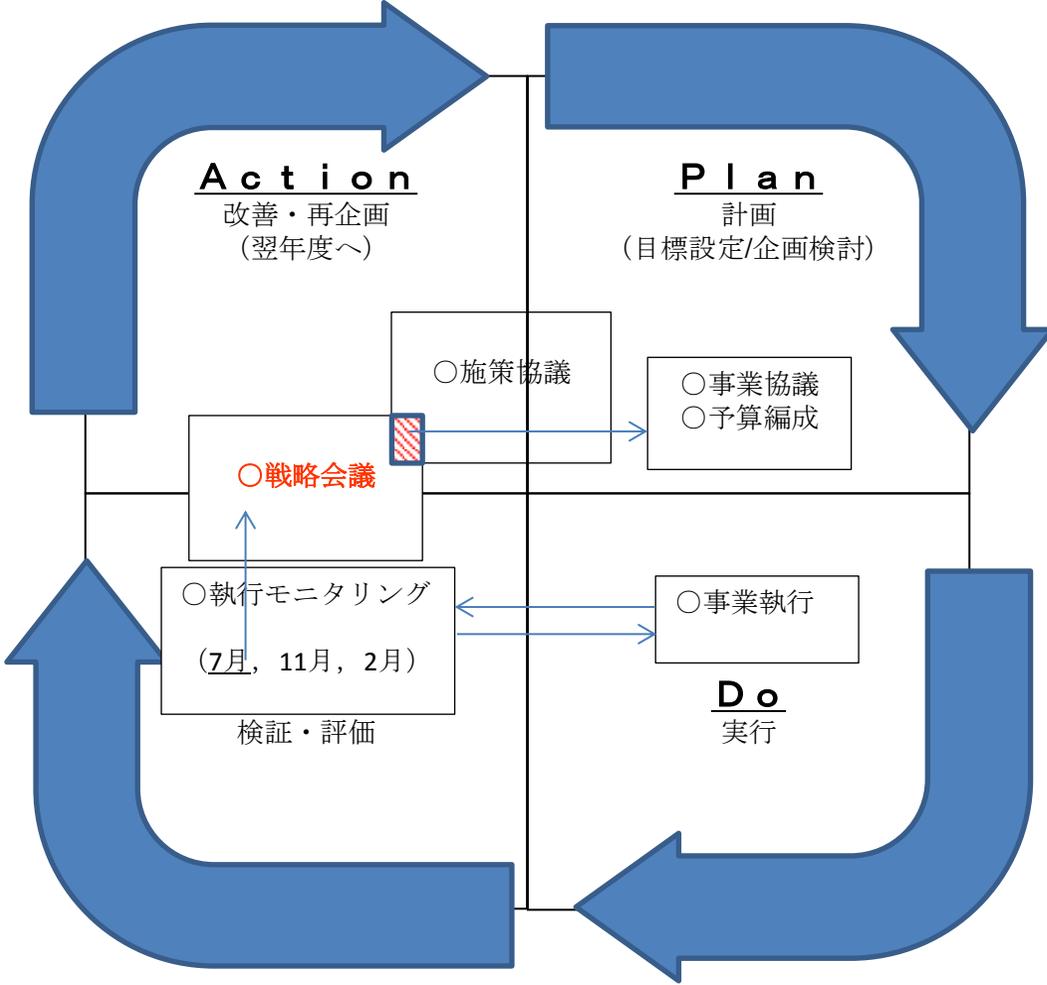


### 《推計の特徴》

- 平成42年に人口のピーク(30,352人)を迎え、以降減少する。
- 平成42年までに人口が30,000人を超える。
- 平成32年度の人口が29,396人と、現状(広島県人口移動統計調査H29.10.1現在人口)の29,226人から170人増加する見込み。
- あくまでも、直近の人口動態が将来も継続すると仮定した推計である。

### 3 PDCAサイクルのイメージとスケジュール

#### ◆PDCAサイクルのイメージ



#### ◆PDCAスケジュール

	月	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H 29 年度	施策協議				○					
	事業協議					↔				
	戦略会議						○	見直し	→	報告
H 30 年度	モニタリング	○					○		○	
	施策協議				○					
	事業協議				○					

## 4-1 達成に向けた状況

### 政策分野ごとの各施策の達成に向けた状況を評価

平成28年度末現在の実績値と計画の最終年度である平成31年度の目標値を比べ、次の4つの区分で、施策の達成度合いを評価（「やや遅れ」または「遅れ」のある施策については、課題解決が必要）

➤ 順調

平成28年度の実績値が、平成31年度の目標値を上回っている。

➤ 概ね順調

平成28年度の実績値が、平成31年度の目標値を下回っているが、平成31年度までに達成の見込みがある。または、別途策定された計画等に沿って、平成28年度実績が計画どおりに進んでいる。

➤ やや遅れ

平成31年度の目標達成に向け、遅れを生じている。

➤ 遅れ

平成31年度までの目標達成が困難である。

# 4-1 達成に向けた状況

## 総評

政策分野	指 標			
	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
≪政策分野1≫ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	5		6	
≪政策分野2≫ 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る	4	2	6	4
≪政策分野3≫ 海田町への新しいひとの流れをつくる	2		1	3
≪政策分野4≫ 働きがいのある就労の場を確保する	1	1	3	1
合計	12	3	16	8

- 総合戦略全体としては、数値目標・KPIのうち、「順調」・「概ね順調」が合わせて38.5%となっている。
- 政策分野全般にわたり、「やや遅れ」または「遅れ」となるKPIがあり、関連施策を加速させる必要がある。
- 今回のPDCAサイクルの結果、指標や目標値の再検討が必要な施策、更なる充実が必要な施策等については、今後、検討を行い、今後の総合戦略の改訂に反映させる。

# 4-1 達成に向けた状況

## 《政策分野1》 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
	<b>基本目標</b>	<b>出生数</b>	<b>316人</b>	<b>306人</b>	<b>335人</b>			○	
(1) 出産・子育てしやすい環境の整備	① 妊娠・出産に対する支援の充実	パパ・ママスクール年間延べ参加者数	158人	210人	170人	○			
	② 家庭における子育ての支援	地域子育て支援センター年間延べ利用者数(3センター)	29,393人	30,642人	29,500人	○			
	③ 保育サービスの充実	待機児童数	0人	0人	0人			○	
(2) 子どもが健やかに育つ環境の整備	① 子どもの居場所づくり	児童館年間延べ利用者数(2館)	13,805人	16,476人	14,000人	○			
		放課後子ども教室年間延べ利用者数	1,922人	2,842人	2,220人	○			
	② 子どもの遊び場づくり	海田総合公園年間延べ利用者数	230,000人	212,911人	240,000人			○	

# 4-1 達成に向けた状況

## 《政策分野1》 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(続き)

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
(3)学校教育の充実	①自立して社会で生きていく基礎となる「生きる力」の育成	全国学力・学習状況調査「活用に関する問題」における国の平均正答率との差	小学校 国語+9.4pt 算数+4.5pt 中学校 国語+3.0pt 算数+6.3pt	小学校 国語+9.4pt 算数+10.2pt 中学校 国語+5.6pt 算数+7.4pt	全教科 +7pt			○	
		中学校卒業時英検3級程度以上の取得率	70.0%	61.8%	70.0%			○	
	②児童生徒の安全・安心の確保と質の高い教育環境の整備	学校施設耐震化率	100.0%	100.0%	100.0%	○			
(4)結婚に対する意識の醸成	①結婚に関する情報提供	セミナー等の年間開催回数	1回	0回	1回			○	
小計						5		6	

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野1》 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(続き)

#### 【子育て支援の現状と課題】

- 各種子育て支援施策に取り組むことで、平成28年度の実績では、KPIの「パパ・ママスクール年間延べ参加者数」や「地域子育て支援センター年間延べ利用者数」が平成31年度の目標を超え、順調に推移している。
- また、平成29年度からは、安心して、楽しみながら子育てができるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行う「かいた版ネウボラ」を設置している。
- 「かいた版ネウボラ」では、ひまわりプラザの機能を強化し、母子保健コーディネーター（保健師）や子育てコーディネーター（保育士）が常駐し、妊娠期から継続して子育てに関する相談に応じたり、個人に応じたサービス等を提供することにより、育児の安心感の醸成につなげている。（詳細は、別紙「かいた版ネウボラ」子育てガイド 参照）
- 平成27年→平成28年度では出生数が減少したものの、平成29年10月末現在の出生数では294人と、前年同月の出生数262人と比べ、32人、12.2%上回っており、増加傾向となっている。
- 一方で、保育ニーズの高まりにより、平成29年10月時点で、待機児童が生じていることや、児童クラブの利用者増に伴う支援員不足など、増加するニーズを充足させるための対策が課題となっている。
- また、「かいた版ネウボラ」の現在までの取組結果を分析し、課題への対応などにより、さらなる切れ目ない支援の充実を図り、取組を加速化する必要がある。

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野1》 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(続き)

#### 【KPIの状況】

- 基本目標の「出生数」は、平成28年の実績が306人と計画上の目標値335人を下回る結果となった。また、平成27年→平成28年が、320人→306人と減少している。しかし、平成29年10月末現在の出生数が294人と、前年同月の出生数262人と比べ、32人、12.2%上回っており、計画上の目標値達成に向け順調に推移しているため、現時点では施策の方向性及び目標値の見直しは行わない。
- KPIの「地域子育て支援センター年間延べ利用者数(3センター)」は、平成29年度から、「かいた版ネウボラ事業」の取組を開始し、サービスを拡充したことから、数値目標を、「かいた版ネウボラ年間延べ利用者数」とし、地域子育て支援センター事業に母子保健、妊婦支援事業等、拡充分の利用者を追加した数値にすることとする。
- 学校施設耐震化率については、町内すべての公立小・中学校施設の躯体の耐震化が完了したことから、目標を達成したが、非構造部材の耐震化が未完のため、今後、順次耐震化を進めていく。
- KPIの「海田総合公園年間延べ利用者数」は、平成28年度は休日の天候不良が多かったことなどにより、212,911人と計画上の目標値240,000人を下回る結果となった。また、平成27年→平成28年が、233,757人→212,911人と減少したことから、目標値240,000人の達成のため、指定管理者と協議し、独自イベントの回数の増を図るなど、利用者数の底上げに取り組んでいるところである。これにより、平成29年10月末現在の利用者数が144,561人と、前年同月の利用者数134,587人と比べ9,974人、7.4%上回っており、計画上の目標値達成に向け、順調に推移していることから、目標値の見直しは行わない。
- KPIの「全国学力・学習状況調査「活用に関する問題」における国の平均正答率との差」の平成28年の実績は、中学校の国語で+5.6ptと、+7ptを下回る結果となった。また、平成29年8月に公表された直近の結果によると、小学校では国語+8.5pt、算数+7.1ptと達成できたものの、中学校では国語-2.2pt、算数+2.9ptといずれも未達成となったため、今後、小・中連携をさらに推進し、「課題発見・解決学習」の単元を開発するとともに質の向上を図る。

# 4-1 達成に向けた状況

## 《政策分野2》 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
	基本目標	健康寿命の延伸	平均寿命 男80.18歳 女88.66歳 健康寿命 男78.74歳 女84.60歳	平均寿命 男82.20歳 (+2.35) 女88.19歳 (+1.82) 健康寿命 男80.49歳 (+2.09) 女83.23歳 (±0)	平均寿命の 増加分を上 回る健康寿 命の増加			○	
(1)災害に強 いまちづくりの 推進	①災害に強い都 市構造の形成	民間緊急避難施設 数	2施設	9施設	8施設	○			
		下水道による都市 浸水対策達成率	3.6%	3.9%	3.9%		○		
	②防災体制の 充実・強化	消防団員数	99人	107人	125人			○	
	③防災情報伝 達体制の整備・ 充実	移動系防災行政無 線デジタル化率	0%	0%	100%			○	

# 4-1 達成に向けた状況

## 《政策分野2》 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

(続き)

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
(2)暮らしの安全・安心の確保	①安全な交通環境と人にやさしい空間の整備・充実	年間交通事故件数	210件	128件	100件				○
	②防犯対策の推進	年間犯罪発生件数	272件	262件	130件				○
(3)健康づくりの推進	①健康づくりのための保健サービスの充実	健康づくりサポーター養成講座年間延べ参加者数	80人	113人	100人	○			
(4)豊かな高齢社会の形成	①地域における支援体制の充実と地域包括ケアシステムの構築	地域ケア会議年間開催回数	2回	4回	12回			○	
	②介護予防の推進と介護サービス基盤の整備	地域密着型サービス事業所数	3箇所	7箇所	4箇所	○			
	③高齢者の安心な生活の支援	地域コミュニティの拠点数	0箇所	0箇所	3箇所			○	

# 4-1 達成に向けた状況

## 《政策分野2》 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

(続き)

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
(5)住宅住環境の整備	①下水道の整備	下水道処理人口普及率	97.8%	98.4%	99.0%		○		
	②町営住宅の計画的な整備	大規模改修整備戸数	0戸	0戸	78戸			○	
	③山畝地区の基盤整備	山畝地区基盤整備計画の策定状況	0%	0%	100%				○
(6)利便性・快適性を備えた公共施設等の整備	①社会教育施設の整備・充実と有効活用	社会教育施設年間延べ利用者数	188,059人	203,386人	190,000人	○			
	②交通空白地域の解消と交通アクセス利便性の向上	循環コミュニティバス年間延べ利用者数	40,936人	40,289人	44,000人				○
小計						4	2	6	4

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野2》 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

(続き)

#### 【KPIの状況】

- 基本目標の「健康寿命の延伸」については、平成28年度の実績は、平均寿命の増加(男性+2.35歳, 女性+1.82歳)に対し、健康寿命の増加が男性+2.09歳, 女性±0歳と、計画上の目標である「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」を達成できなかったため、今年度策定する「第3次健康かいた21」に基づき、健康づくりの推進を加速化する。
- KPIの「消防団員数」は、平成28年度の実績が107人と計画上の目標値125人を下回る結果となったが、平成27年度→平成28年度が99人→107人と、8人(8.1%)増加しており、計画上の目標値達成に向け順調に推移しているため、現時点では、施策の方向性及び目標値の見直しは行わない。
- **KPIの「移動系防災行政無線デジタル化率」は、平成28年度の実績が0%と計画上の目標値100%を下回る結果となった。**移動系防災行政無線の改修にあたっては、現行システムだけでなく、他のシステムによる整備も検討し、機能性向上及び経費節減を勧告してデジタル化を進めることとする。
- KPIの「年間交通事故件数」は、交通安全啓発活動や交通安全施設整備、道路改修等に取り組んでいるが、平成28年度の実績が128件と計画上の目標値100件を上回る結果となった。また、平成29年6月末現在では、海田町内で発生した事故件数が59件と、目標値の100件に対し遅れが生じている。年間交通事故件数については、H27年度181件→H28年度128件と大幅に減少していることから、この原因を分析する。また、直近の町内交通事故の発生箇所・事故内容を町内地図にプロットして、早期に事故発生の傾向、要因等を分析した上で対策を検討する。
- KPIの「年間犯罪発生件数」は、平成28年度の実績が262件と計画上の目標値130件を大きく上回る結果となった。防犯対策事業については、防犯パトロールの実施や、平成27年度から28年度にかけて町内一円への防犯カメラの設置等に取り組んでいるが、明確な効果があらわれていないため、直近の犯罪種別ごとの推移を分析し、早期に犯罪発生の傾向等を分析した上で、町として最適な対策を検討する。

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野2》 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

(続き)

- KPIの「地域ケア会議年間開催件数」は、平成28年度の実績が4回と計画上の目標値12回を下回る結果となったが、平成29年度は、毎月開催する予定となっており、計画上の目標値12回を達成できる見込みであることから、現時点では施策の方向性及び目標値の見直しは行わない。
- KPIの「地域コミュニティの拠点数」は、平成28年度の実績が0箇所と計画上の目標値の3箇所を下回る結果となったが、平成29年7月に認知症カフェの新規立ち上げ(1箇所)があったこと、今後、平成29年5月に開所した地域密着型小規模特別養護老人ホーム内の地域交流スペースを拠点としての活用を施設側と協議し、進めていくこととしており、計画上の目標値達成に向け順調に推移しているため、現時点では施策の方向性及び目標値の見直しは行わない。
- KPIの「大規模改修整備戸数」は、平成28年度の実績が0戸と計画上の目標値78戸を下回る結果となった。これは、平成29年度に町営住宅長寿命化計画を見直したことによるもので、今後は、見直し後の長寿命化計画に基づき、大規模改修整備を行うこととする。
- KPIの「循環コミュニティバス年間延べ利用者数」は、平成28年度の実績が40,289人と計画上の目標値44,000人を下回る結果となった。また、平成29年度に、利便性向上に向けダイヤ改正を行ったが、平成29年10月末現在の利用者数を前年同月と比較すると、25,197人→22,944人と2,253人、8.9%の減となっている。現在、利用者が減少していることについて、ダイヤ改正を行ったことによる影響など、減少要因を早急に分析し、利用者増に向けた取組を加速化する。

# 4-1 達成に向けた状況

## 《政策分野3》 海田町への新しいひとの流れをつくる

(続き)

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
	<b>基本目標</b>	<b>人口の社会増減</b>	<b>+199人</b>	<b>+208人</b>	<b>毎年度+を維持</b>	○			
(1) 織田幹雄さんにちなんだまちづくり	① 織田幹雄さんの偉業の継承とスポーツのまち・海田づくり	スポーツ大会年間延べ参加者数	1,889人	1,609人	2,000人				○
(2) 自然と文化が息づく海田町の魅力の発信	① 地域資源の活用	Facebookによる年間情報発信件数	69件	110件	150件			○	
(3) 移住・定住の促進	① 移住に向けたPRの強化	首都圏や関西圏での年間PR活動件数	0件	2件	2件	○			
	② 空き家の流通促進	空き家の利用転換率	0%	0%	5%				○
(4) 拠点づくりの推進	① 海田市駅南口のにぎわいづくり	土地区画整理事業区域内の居住人口	0人	0人	200人				○
小計						2		1	3

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野3》 海田町への新しいひとの流れをつくる

(続き)

#### 【町の魅力発信の取組】

海田町への新しいひとの流れをつくるため、平成28年度は、国の「地方創生加速化交付金」を活用し、ご当地グルメの開発や、町の地域資源である旧千葉家住宅、織田幹雄さんなどを魅力として発信できる体制を整えた。

#### ○ご当地グルメの開発

- 町制施行60周年記念イベントで特産品コンテストを開催し、最優秀賞を受賞したフロランタン(海田高等学校の生徒がレシピを考案した焼き菓子)を「ひまわり畑のフロランタン 広島のリモンの恵み」として開発して洋菓子店における取扱が決まった。フロランタンの商品化にあたっては、広島安芸商工会に対し、商品化に向けた研究、開発や取扱店の開拓等に係る経費への補助金を交付し、話題性のあるご当地グルメを開発することができた。
- 平成29年9月からは、町内小売店3店舗、広島市内の洋菓子店1店舗、ひろしま夢プラザ、東京都のTAUでの販売を開始し、11月には、町内洋菓子店での製造・販売を追加し、現在、7店舗で販売され、町の特産品として広くPRされている。また、各種イベント等で8回のPR販売等を行い、町の特産品としての定着に向けた取組を広げている。
- 一方で、平成31年度の目標を、ご当地グルメを提供する事業所数10件としているため、この達成に向け、新たな特産品の開発やフロランタン販売店のさらなる拡大に取り組む必要がある。

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野3》 海田町への新しいひとの流れをつくる

(続き)

#### 【町の魅力発信の取組】(続き)

##### ○旧千葉家住宅の改修

- 町の文化資源である旧千葉家住宅に、講座や展示活動が通年で実施できるスペースを設け、地域の歴史や文化にふれる機会を提供するため、主屋等の改修を行った。
- 平成29年度からは、旧千葉家住宅の一般公開に合わせ、主屋を活用した展示などを行い、平成29年10月末現在の来場者は、1,804人と前年同月の914人に比べ、890人、97.4%増加している。(H29年度の企画展示:4~5月「海田ゆかりの屏風展」、6~7月「海田のむかしばなし絵本原画展」、8月「織田幹雄展」、9月「海田ふるさと百景原画展」、10~11月「明治の海田の産業展」)

##### ○魅力PRポスター及び動画の作成

- 町の魅力をPRするため、町の紹介動画及びポスターを作成した。
- 紹介動画は、町制施行60周年記念式典における来賓への配布や、町内施設への配布、県観光課、観光連盟、広島市観光課などへ配布し、魅力PRのため活用した。
- ポスターは、町の地域資源である旧千葉家住宅や織田幹雄さん、町の住みよさをテーマとした3種類のものを作成し、町内施設や高等学校、県内の大規模小売店舗での掲出や、県内外におけるイベントでの掲出などにより、海田町が多くの人の目に触れるよう、活用をした。
- また、一般公募による魅力PR動画を町のホームページに掲載し、町の魅力のPRに努めた。

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野3》 海田町への新しいひとの流れをつくる

(続き)

#### 【町の魅力発信の取組】(続き)

##### ○織田幹雄顕彰事業

- 海田町の名誉町民で、日本人初のオリンピック金メダリスト織田幹雄さんの偉業を顕彰するため、地方創生加速化交付金を活用して織田幹雄さんの動画や各種レプリカを作成し、町内外での各種イベントやスポーツ大会、学校教育の場など、約60箇所での活用等により、織田幹雄さんの情報発信に努めた。
- 平成29年度からは、東京23区特別区長会と広島県町村会との連携協力協定の中で、織田幹雄さんが名誉区民である東京都渋谷区と連携し、織田幹雄さんの偉業を広く後世に伝える取組を開始した。平成29年11月には東京都立代々木公園陸上競技場(織田フィールド)において、特別区全国連携プロジェクト事業として、「織田幹雄記念子ども陸上教室～ホップ・ステップ・ジャンプ!～」が開催され、首都圏において織田幹雄さんの情報を発信することができた。今後も、引き続き渋谷区と連携した織田幹雄さんの偉業の伝承に向けた取組を実施する。
- また、現在、(仮称)織田幹雄記念館の平成32年度会館に向けた取組を行っており、織田幹雄さんのさらなる顕彰及び町内外への情報発信を進めている。

##### ○町制施行60周年記念事業

- 海田町の町制施行60周年に当たり、町民、事業者、行政、各種団体等との協働で記念イベントを開催した。
- イベントにおいては、2万人を超える来場者があり、特産品コンテストや海田町紹介動画コンテスト等の実施により、町の新たな魅力の創造と町内外への魅力発信をすることができた。
- また、60周年記念イベントを、町民、事業者、行政、各種団体等との協働でつくりあげることで、地域のつながりの強さを再確認するとともに、地域力を高めることができた。

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野3》 海田町への新しいひとの流れをつくる

(続き)

#### 【KPIの状況】

- 基本目標の「人口の社会増減」は、平成28年の実績が+208人と計画上の目標値である「毎年度プラス値を維持」し、順調に推移している。(社会増減の推移(参考):平成27年+49人,平成28年+208人,平成29年10月末現在+120人(前年同月比△22人,△15.5%))
- KPIの「Facebookによる年間情報発信件数」は、平成28年度の実績が110件と計画上の目標値である150件を下回っており、効果的な情報発信の弱さが課題となっている。平成28年度に地域資源を魅力として発信できる体制を整備したことから、今後、旧千葉家住宅や織田幹雄さんなど、地域資源のさらなる活用に取り組むとともに、Facebookによる情報発信を含め、様々な媒体を活用して、タイムリーで効果的な魅力発信を行うことで、海田町への新しいひとの流れをつくる取組を加速化する。
- KPIの「スポーツ大会年間延べ参加者数」は、平成28年度の実績が1,609人と計画上の目標値である2,000人を下回っている。スポーツ大会年間延べ参加者数は、町内で実施するマラソン大会や駅伝大会等を対象としているが、スポーツ大会の内容は、その時々ニーズに合わせて変化するため、長期的な指標として現在の対象が適切かどうか、を含め、今後の方向性を検討する。
- KPIの「土地区画整理事業区域内の居住人口」は、海田市駅南口土地区画整理事業の事業目的のひとつとして、区域内に都市型住宅の導入を図ってきたが、区域内の宅地については、関係権利者の意向により商業施設の立地が決定したため、KPIの達成が困難となったことから、今後、評価指標の再設定を検討する。

# 4-1 達成に向けた状況

## 《政策分野4》 働きがいのある就労の場を確保する

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね 順調	やや 遅れ	遅れ
	基本目標	創業支援事業計画に基づく年間起業家数	0人	3人	6人			○	
(1)雇用の場の確保	①町内における雇用安定の促進と労働環境の整備	創業支援計画に基づく創業支援相談年間人数	0人	17人	30人			○	
	②連携中枢都市(広島市)や近隣各町と連携した雇用の場の確保に向けた取組	安芸区役所の就労支援窓口(ハローワーク)の年間利用件数	0件	3件	30件				○
(2)交通網の整備	①道路網の骨格形成	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく計画的な橋りょうの修繕数	累計3橋(3.7%)	累計4橋(4.9%)	累計7橋(8.6%)		○		

# 4-1 達成に向けた状況

《政策分野4》 働きがいのある就労の場を確保する (続き)

区分	施策名	指標名	H26基準値	H28実績	H31目標値	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ
(3)商工業の振興	①活力とにぎわいのある商工業が根づくまちの形成	中小企業融資制度年間斡旋件数	42件	36件	50件			○	
	②連携中枢都市(広島市)や近隣各町と連携した商工業振興に向けた取組	各種支援を受ける年間企業件数	0件	12件	10件	○			
小計						1	1	3	1

## 4-1 達成に向けた状況

### 《政策分野4》 働きがいのある就労の場を確保する

(続き)

- 基本目標の「創業支援事業計画に基づく年間起業者数」は、平成28年度の実績が3人と計画上の目標値6人を下回る結果となった。今後、創業支援事業計画に基づき、商工会が実施する「創業塾」等の支援メニューを効果的にPRするとともに、創業支援に向けた町独自の助成制度を創設し、起業者数の増加を図る。
- KPIの「創業支援計画に基づく創業支援相談年間人数」は、平成28年度の実績が17人と計画上の目標値30人を下回る結果となったため、今後、広島安芸商工会が実施する創業塾等の支援メニューのPRを強化し、利用促進を図る。
- KPIの「中小企業融資制度年間斡旋件数」は、平成28年度の実績が36件と計画上の目標値50件を下回る結果となったため、今後、融資制度のPRを強化し、利用の促進を図る。
- KPIの「安芸区役所の就労支援窓口(ハローワーク)の年間利用件数」は、平成28年度の実績が3件と計画上の目標値30件を下回る結果となった。この就労支援窓口は、生活困窮者等を対象とした窓口であることから、近年の景気上昇等によるニーズの低下などを踏まえ、今後、数値目標の再設定を検討する。

# 4-2 KPIの見直し

## 総合戦略(KPIの見直し)

平成31年度に目指すべき計画上の目標値について、必要な修正をする。

数値目標	基準値(H26)	実績値(H28)	計画上の目標値(H31)	
			現 行	修正後
《政策分野1》				
地域子育て支援センター 延べ利用者数	29,393人	30,642人	29,500人	(変更)
かいた版ネウボラ年間延 べ利用者数	—	—	—	35,200人

➤ KPIの「地域子育て支援センター年間延べ利用者数(3センター)」は、平成29年度から、「かいた版ネウボラ事業」の取組を開始し、ひまわりプラザを子育て支援及び母子保健事業の拠点とし、サービスを充実したことから、数値目標を「海田版ネウボラ年間延べ利用者数」に変更し、目標値を地域子育て支援センター事業に拡充分の利用者を追加した35,200人とする。

### 4-3 地方創生加速化交付金を活用した取組

#### 海田町ブランディング事業(地方創生加速化交付金活用事業)

- 町の魅力を創造、発信し、地方創生の実現に向けた好循環を推進するため、国の平成27年度補正予算(第1号)により財源措置された、地方創生加速化交付金を活用し実施した「海田町実施ブランディング事業」について、交付金制度要綱(平成28年1月21日付内閣府事務次官通知)の規定に基づき、事業実施に伴う効果を検証したので、その結果を報告する。

ご当地グルメの開発や、町の地域資源である旧千葉家住宅を魅力として発信できる体制を整えるなど、町の魅力(ブランド)を創造するとともに、これらの地域資源や、暮らしの便利性等を複合的にブランディングし、旧千葉家住宅や織田幹雄さんを活用したイベントの開催など、さまざまな媒体の活用により、町の魅力(ブランド)を発信した。これにより、人々が行きかう賑わいのあるまちづくりを目指し、町全体の活力の底上げを図った。

数値目標	基準値 (H26)	後年度 目標値 (H31)	事終了時 目標値 (H28)	実績 (H28)	H28年度 の状況	備 考
ご当地グルメを提供する事業所数	0件	10件	1件	1件	達成	フロランタンを取り扱う事業者1件が決まったが、平成31年度の目標値10件の達成に向け、新たな特産品の開発やフロランタン販売店のさらなる拡大に取り組む必要がある。
観光客数(広島県「広島県観光客数の動向」より)	270,000人	298,000人	273,000人	265,091人	未達成	総合公園の利用者数の減少が影響し、観光客数の総数は未達成だが、旧千葉家住宅の来館者は着実に増加している。平成31年度の目標達成に向け、今後さらなる来館者の増を目指し、主屋を活用したイベント等のPRに取り組む必要がある。

### 4-3 地方創生加速化交付金を活用した取組

#### 海田町ブランディング事業(地方創生加速化交付金活用事業)

(続き)

- KPI「ご当地グルメを提供する事業所数」は、平成28年度の目標値1件を確保することができた。また、平成29年6月末現在では、フロランタンを提供する店舗数が6店舗となっている。今後は、平成31年度の目標10件の達成に向け、フロランタンのPRを通じて特産品としての知名度を向上させる取組等を行い、商品としての定着、販売店のさらなる拡大を図る必要がある。また、新たな特産品の開発による取扱事業所の開拓の取組を促進する。
- KPI「観光客数」は、平成28年の目標値273,000人に対し、265,091人と未達成であるが、これは、観光施設の主である海田総合公園の利用者数が減少していることによるものである。旧千葉家住宅の利用者については、増加傾向にあり、主屋改修後の平成29年度は、前年同月と比べ865人、61.3%の増となっており、改修の成果が表れている。

【旧千葉家住宅及び海田総合公園利用者数の推移】

施設等名称	H27 (10月末現在)	H28 (10月末現在)	H29 (10月末現在)
旧千葉家住宅	1,296人	1,411人	2,276人
海田総合公園	203,429人	184,056人	193,103人

### 4-3 地方創生加速化交付金を活用した取組

#### 海田町ブランディング事業の概要(地方創生加速化交付金活用事業)

(続き)

#### ◎魅力(ブランド)の創造

主な取組内容	決算額
旧千葉家住宅に講座や展示活動が通年実施可能なスペースを設け、地域の歴史や文化にふれる機会を提供するため、主屋等の改修を行いました。(旧千葉家主屋等改修事業)	33,460千円
話題性のあるご当地グルメを開発するため、特産品の研究、開発等に係る経費に対し、補助金を交付しました。(商工業振興事業)	2,799千円

### 4-3 地方創生加速化交付金を活用した取組

#### 海田町ブランディング事業の概要(地方創生加速化交付金活用事業)

(続き)

#### ◎魅力(ブランド)の発信

主な取組内容	決算額
海田町の魅力紹介, イメージアップを図るため, 海田町の魅力を集めたDVDを作成するとともに, 魅力紹介動画を公募し, 町ホームページ等に掲載することで, 町内外に町の魅力を発信することができました。(海田町の紹介DVD作成事業)	1,239千円
海田町の魅力をPRするポスターを作成し, 様々な場所に掲示することで町内外に町の魅力を発信することができました。(海田町紹介ポスター作成事業)	2,495千円
海田町の町制施行60周年に当たり, 町民, 事業者, 行政, 各種団体等と協働で記念イベントを開催し, 地域のつながり, 地域力を高めるとともに, イベントでの特産品コンテストの実施, 海田町紹介動画コンテストの実施等により, 新たな町の魅力を町内外に広く発信することができました。(町制施行60周年記念事業)	23,901千円

### 4-3 地方創生加速化交付金を活用した取組

#### 海田町ブランディング事業の概要(地方創生加速化交付金活用事業)

(続き)

#### ◎魅力(ブランド)の発信

主な取組内容	決算額
海田町名誉町民で、日本人初のオリンピック金メダリスト織田幹雄さんの偉業を顕彰するため、動画や各種レプリカ等を作成するとともに、各種イベントでの活用等により、織田幹雄さんのPRを行いました。また、町内小学校において、第2の織田幹雄育成事業として、運動能力向上プログラムを実施しました。(織田幹雄顕彰事業、第2の織田幹雄育成事業)	13,550千円
町制施行60周年に当たり、海田町の現在と過去の風景写真を比較する「かいた今昔写真展」を開催し、改めて町の魅力を見つめ直し、海田町民であることの誇りの醸成を図るとともに、町の魅力を町内外に発信することができました。(公民館主催講座事業)	134千円

## 【資料編】 総合戦略の概要

### 【海田町の現状】

- 海田町は、隣接する広島市のベッドタウンとしての性格と、主に自動車関連産業の就業の場としての性格を併せ持ちながら発展
- 人口は、近年、マンション建設や宅地開発に伴い人口増加に転じており、当面はこの傾向が続く見込み
- 総人口に占める年少人口及び生産年齢人口の割合が県内上位にあることや、合計特殊出生率が全国や広島県、広島市と比較して高く、若い世代のまち
- 一方で、老年人口の割合は増加を続けており、全国的な少子高齢化の波は、確実に本町にも押し寄せてきている。
- 人口減少が顕著となる前段階で、町の現状と将来をしっかりと見据え「地方創生」の実現に向けた好循環を効果的に生み出す必要がある



海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、必要な施策を講じる

## 【資料編】 総合戦略の概要(続き)

### 【総合戦略の位置づけ】

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、広島県の「広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、海田町の実情を踏まえた上で、まち・ひと・しごと創生に関する分野における目標や基本的方向、具体的な施策などをまとめたもの。

また、総合計画で示す施策のうち、まち・ひと・しごと創生に係る取組を集中的に取捨選択する形で整合を図る。

### 【計画期間】

平成27年度から平成31年度までの5年間

### 【政策分野】

- 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 2 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る
- 3 海田町への新しいひとの流れをつくる
- 4 働きがいのある就労の場を確保する

# 【資料編】 総合戦略の概要(続き)

## 【総合戦略の体系】

政策分野	施策の基本的方向	施策
1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 出産・子育てしやすい環境の整備	① 妊娠・出産に対する支援の充実
		② 家庭における子育ての支援
		③ 保育サービス等の充実
	(2) 子どもが健やかに育つ環境の整備	① 子どもの居場所づくり
		② 子どもの遊び場づくり
	(3) 学校教育の充実	① 自立して社会で生きていく基礎となる「生きる力」の育成
		② 児童生徒の安全・安心の確保と質の高い教育環境の整備
	(4) 結婚に対する意識の醸成	① 結婚に関する情報提供

# 【資料編】 総合戦略の概要(続き)

政策分野	施策の基本的方向	施策
<b>2健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る</b>	(1)災害に強いまちづくりの推進	①災害に強い都市構造の形成
		②防災体制の充実・強化
		③防災情報伝達体制の整備・充実
	(2)暮らしの安全・安心の確保	①安全な交通環境と人にやさしい空間の整備・充実
		②防犯対策の推進
	(3)健康づくりの推進	①健康づくりのための保健サービスの充実
	(4)豊かな高齢社会の形成	①地域における支援体制の充実と地域包括ケアシステムの構築
		②介護予防の推進と介護サービス基盤の整備
		③高齢者の安心な生活の支援
	(5)住宅・住環境の整備	①下水道の整備
		②町営住宅の計画的な整備
		③山畝地区の基盤整備
	(6)利便性・快適性を備えた公共施設等の整備	①社会教育施設の整備・充実と有効活用
		②交通空白地域の解消と交通アクセス利便性の向上

# 【資料編】 総合戦略の概要(続き)

政策分野	施策の基本的方向	施策
<p>3 海田町への新しいひとの流れをつくる</p>	<p>(1)織田幹雄さんにちなんだまちづくり</p>	<p>①織田幹雄さんの偉業の継承とスポーツのまち・海田づくり</p>
	<p>(2)自然と文化が息づく海田町の魅力の発信</p>	<p>①地域資源の活用</p>
	<p>(3)移住・定住の促進</p>	<p>①移住に向けたPRの強化 ②空き家の流通促進</p>
	<p>(4)拠点づくりの推進</p>	<p>①海田市駅南口のにぎわいづくり</p>

# 【資料編】 総合戦略の概要(続き)

政策分野	施策の基本的方向	施策
4 働きがいのある就労の場を確保する	(1)雇用の場の確保	①町内における雇用安定の促進と労働環境の整備
		②連携中枢都市(広島市)や近隣各町と連携した雇用の場の確保に向けた取組
	(2)交通網の整備	①道路網の骨格形成
	(3)商工業の振興	①活力とにぎわいのある商工業が根づくまちの形成
②連携中枢都市(広島市)や近隣各町と連携した商工業振興に向けた取組		